エアドクター
AIR-DOCTOR
エアドクター専用ポンプ(CR-259)

保 証 書

本書は、日本国内において取扱説明書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に本書記載内容にて無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときには、本書と商品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※欄に記入のない場合は、有効とはなりませんので必ずご記入の有無をご確認ください。
本書は再発行いたしませんので、紛失なさいませんように大切に保管してください。

1. 本書はエアドクター専用ポンプ(CR-259)のみの保証書とさせていただきます。
2. 保証期間内であっても、以下の場合には有料修理、または保証対象外となります。
   ア)取扱または操作が不適当であったため生じた故障。移動、落下等による故障および損傷。
   イ)当社(株式会社ケープ)以外での改造が加えられた場合。
   ウ)火災、地震、水害、落雷、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   エ)接続している他の機器が、本製品の仕様に適合していないために生じた故障および損傷。
   オ)本製品以外に故障の原因がある場合。
   カ)保証書のご提示がない場合。および、保証書の所定事項に記入がない場合、
   あるいは字句の書き換えが認められた場合。
   キ)ポンプ本体に製造番号(シリアルナンバー)の表示がない、もしくは確認ができない場合。
3. 本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合は、
   株式会社ケープにご相談ください。

無料修理保証期間(お買い上げ日)	平成	年	月	日より3年間
※お客様				
お名前		TEL		
ご住所				
※取扱店				
店名/住所/TEL				

株式会社 ケープ
〒238-0013　神奈川県横須賀市平成町2-7
TEL:046-821-5511(代)　FAX:046-821-5522
ホームページ:http://www.cape.co.jp/
E-mail:lovingcare@cape.co.jp

体圧分散式エアマットレス／床ずれ防止用エアマットレス

エアドクター®
AIR-DOCTOR®

エアドクター
取扱説明書(保証書付)

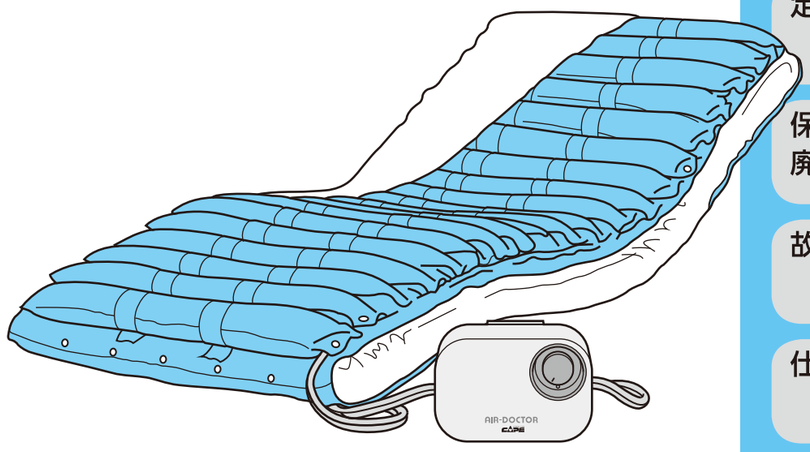
このたびはエアドクターを お買い求めいただきありがとうございます

本取扱説明書について

■エアドクターのご使用に先立って、この取扱説明書を初めから最後まで必ずお読みください。

■いつでも読み返すことができるように、本書をエアドクターのそばに保管してください。

■本書の最終ページは保証書になっています。



LOVING CARE CAPE
褥瘡0(ゼロ)をめざして

もくじ

エアドクターについて 2〜3ページ
安全にお使いいただくために
●重要安全情報
●安全上のご注意(警告) 4〜5ページ
設置準備の前に
●この取扱説明書の見方
●梱包内容の確認
●各部の名称 6〜7ページ
設置準備をしましょう 8〜11ページ
実際に使用しましょう
●底づきチェックの方法 12〜14ページ
停電時の対応方法 15ページ
定期的なお手入れのしかた 16〜17ページ
保管のしかた
廃棄のしかた 17ページ
故障かな?と思ったら… 18〜19ページ
仕　様 18〜19ページ
保証書 20ページ

エアドクターについて

エアドクターは、床ずれ防止用エアマットレスです。20本のエアセルと電子制御の圧力センサ内蔵ポンプによって構成されており、隣り合ったエアセルが約5分間隔で交互に膨張と収縮を繰り返します。エアセルとこの動きにより、体圧を分散するとともに、体重が特定箇所に加わり続けることを防ぎます。また、マットレスの内圧はポンプの圧力センサにより自動でコントロールされていますので、どなたでも簡単に適正圧力の管理が可能です。

エアドクターのご使用に際して

エアドクターは、主に以下の方におすすめします。

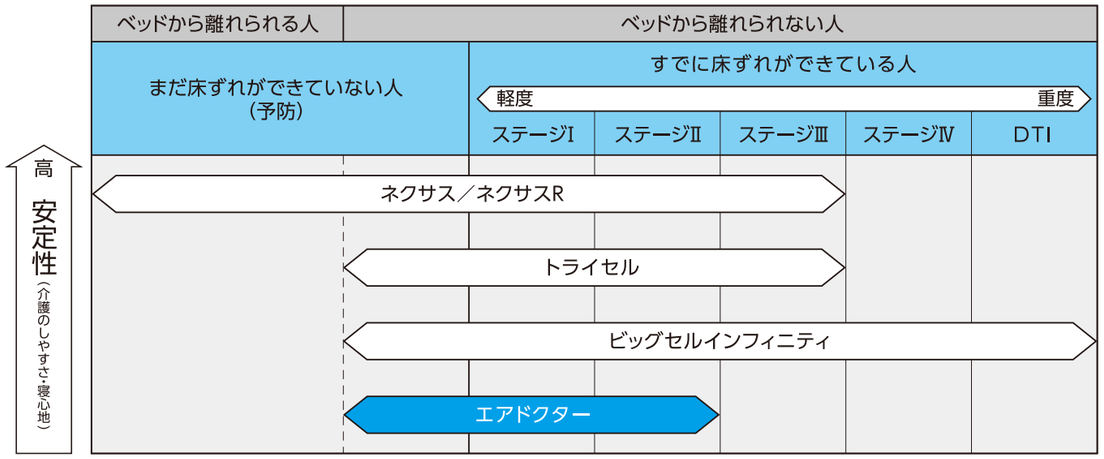
- ●寝たきりの方、またはそれに準ずる方
- ●ベッドから離れられない方の床ずれ防止に
- ●褥瘡ステージⅡ(NPUAPの分類による)までの床ずれの方の環境整備のために

ご使用に際しては専門家と相談してください。また、使用されているうちに療養者の状態が変化した場合には、専門家に相談してください。

ご理解いただきたいこと

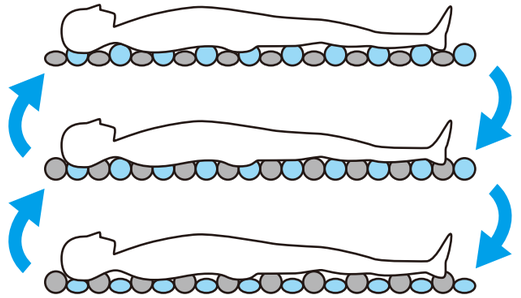
残念ながら、床ずれが発生するメカニズムについては、現在でもその全容が解明されているわけではありません。また、療養者の個別な全身状態によっても、その発生は大きく左右されます。しかし、ひとつの要因として「体重によって局所に加わる継続的な圧力」が直接的物理的要因であることは、広く認識されています。そのため、床ずれ発生危険度の高い療養者には、介護者による2時間ごとの「体位変換」が有効であるとされています。エアドクターは、圧力の時間的継続性を断ち、床ずれを防止しようとする補助具です(医療機器ではありません)。したがって、療養者の全身状態や様々な状況によっては、適切にご使用いただいても床ずれを防止できないことがあります。これらのことをご理解いただき、ご使用くださいますようお願いします。

株式会社ケープでは、使用される方の状態に合わせて、以下の商品もご用意しています。



● 特 長

1. 20本のエアセルが交互に膨張・収縮を繰り返すことにより、体重が特定箇所に加わり続けることを防ぎます。



2. 体重設定は30kgから5kg刻みで、90kgまで設定が可能です。

3. エアドクターは適正圧力を自動でコントロールするため、操作は体重設定のみです。また必要なときだけ作動するため、消費電力や動作音も低く抑えています。

4. ポンプ右側面にチューブ栓を装備。停電時などに送風チューブに挿すことで、長期間に渡りマットレスの空気漏れを防ぎます。

5. 安定性の高いマットレスにより優れた寝心地を実現。リハビリなどにも適しています。

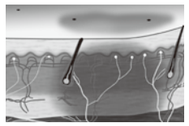
6. 万一エアセルがパンクしても、エアセル1本ごとに取り外して交換できるため、メンテナンスが容易で経済的です。

7. 伸縮性に優れた、防水・抗菌・防臭機能付きの専用カバーが付属しています。

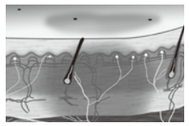
●褥瘡ステージ(NPUAP※)の分類について

床ずれ(褥瘡)を正しく理解するための代表的な分類がNPUAPの分類です。
症状の進み具合によってステージに分けられています。

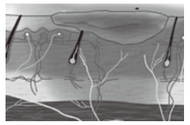
※ National Pressure Ulcer Advisory Panel



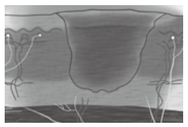
Suspected DTI※
DTI疑い



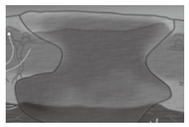
ステージⅠ
紅斑(圧迫しても蒼白にならない)



ステージⅡ
真皮におよぶ損傷



ステージⅢ
皮膚全層および皮下組織に至る深在性筋膜におよぶ損傷



ステージⅣ
筋肉・骨支持組織におよぶ損傷

UNSTAGEABLE
深さの判定が不能

※Suspected Deep Tissue Injury
圧力およびまたはせん断力によって生じる皮下軟部組織の損傷に起因する、限局性の紫または栗色の皮膚変色、または血疱(引用:「褥瘡看護技術」照林社)

安全にお使いいただくために

エアドクターの取り扱いにあたっては本書をよく読んでご理解いただき、必ず本書の指示に従ってください。

重要安全情報

エアドクターのご使用中に生じる可能性のある災害を回避するためには、その原因となり得る危険の要素がどこにあるかを、予め知っておくことが不可欠です。しかし当社において、潜在的なあらゆる危険性を予想することは困難です。従って、本書には知り得る限りの安全に関する警告情報を、下記のように定義して記載してあります。

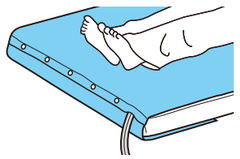
警告　このマークにある指示に従わなかった場合に、物的損害や負傷、死亡につながる恐れのある危険性を警告しています。特に重要なため、下記「安全上のご注意」にまとめて記載し、警告します。

注意　このマークにある指示に従わなかった場合に、本商品が正常に機能しなくなる可能性を警告しています。

安全上のご注意（警告）

警告
エアドクターの使用に際しては、必ず専門家と相談の上ご使用ください。また使用中に身体に異常を感じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。病状悪化や事故の恐れがあります。

警告
送風チューブは必ず足側になるようにエアドクター専用マットレスを設置してください。送風チューブが頭側にくると、送風チューブが首などにからんで事故を招く恐れがあります。



警告
エアドクターの上で、飛び跳ねないでください。ケガをしたり、破損の原因になります。エアマットレスの上で立ち上がったり、膝を立てたりしないでください。局所に高い圧力がかかり続けるとエアセル破損の危険性があります。

警告
エアドクターをご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合には、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因にもなります。

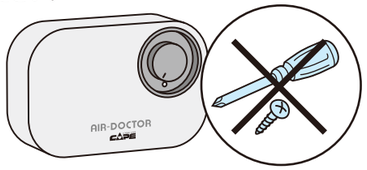
警告
エアドクターの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。

警告
エアドクターの上での喫煙はお止めください。火災の原因等になることがあります。

警告
背上げをしている際の移乗はしないでください。ベッドからの落下、転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。

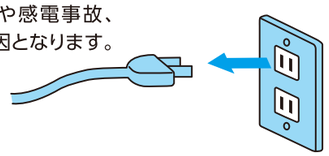
警告
送風チューブを束ねたり、専用マットレスの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマットレス内に送りこまれなくなり、エアマットレスとしての期待した性能が得られない恐れがあります。

警告
ご自分で修理するためにエアドクター専用ポンプのネジを取り外し、ケースを開けることは絶対にしないでください。感電事故や故障の原因となります。また専用ポンプを当社の承諾無しに改造することは、安全上重大な影響を及ぼす恐れがあります。決してお客様による改造は行わないでください。



警告
エアドクターのマットレスと専用ポンプ以外の組み合わせでは、絶対に使用しないでください。期待した効果が得られないばかりか、火災事故や故障の原因にもなります。

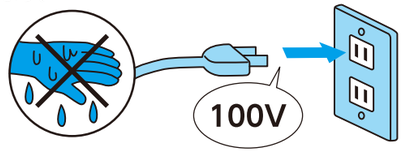
警告
エアドクターを長期間使用しないとき、またエアドクター専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因となります。



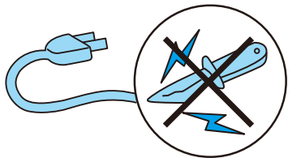
警告
エアドクター専用ポンプを湿気の多い場所で使用したり、エアドクター専用ポンプに水や尿などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因となります。

注意　直射日光の当る場所、高温多湿な場所を避け、湿気がこもらないよう壁から5cm以上離して設置してください。

警告
エアドクター専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント（100V50Hz/60Hz）に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。また濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故や故障の原因となります。



警告
エアドクター専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントからプラグを抜く時には、必ずプラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。



設置準備の前に

この取扱説明書の見方

●必ず、初めから最後まで通してお読みください。

●各説明には以下の3つのマークがあり、それぞれ詳しい情報が記載されています。必要に応じて参照してください。

説 明 準備や操作の指示内容ついて、その必要性を説明しています。

確 認 準備や操作の指示内容について、それが指示通りにできたかを確認する方法を説明しています。

工 夫 ちょっとした工夫で、準備や操作がより効率的になるアイデアを説明しています。

●使用を開始してからも、困ったこと、わからないこと、不安なこと等が生じた場合には直ちに使用を止め、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら…」(P.18〜19)を参照し、解決のための情報を得てください。故障でない場合、その問題についての参照ページが記載されています。

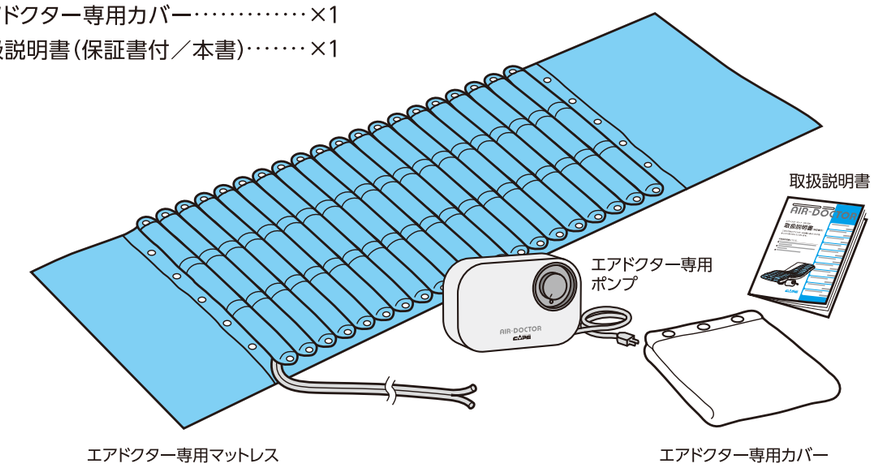
●上記の方法で解決が得られない場合は、この取扱説明書添付の保証書をご覧になり、お買い上げになったご購入先、もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください。

梱包内容の確認

お手元にお届けした梱包には、以下のものが入っています。ご確認ください。

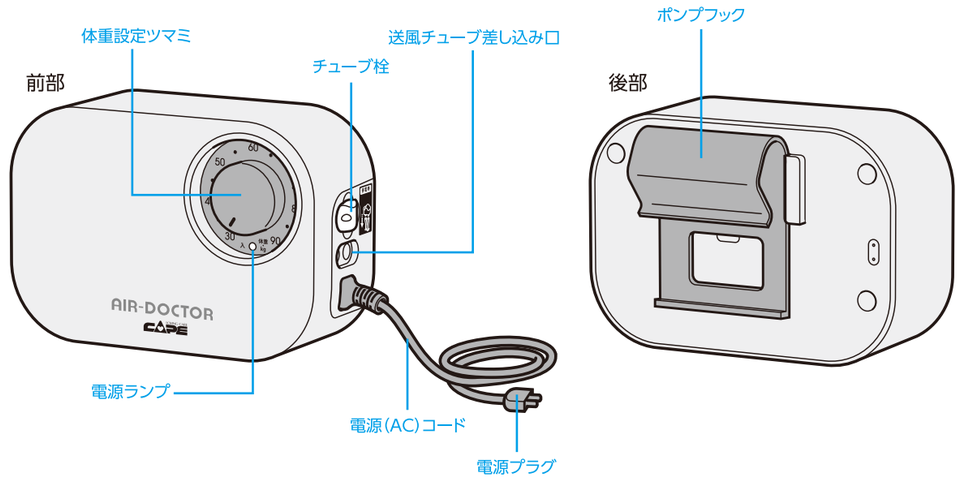
■エアドクターセット

エアドクター専用ポンプ…… ×1
エアドクター専用マットレス……×1
エアドクター専用カバー……×1
取扱説明書(保証書付／本書)……×1

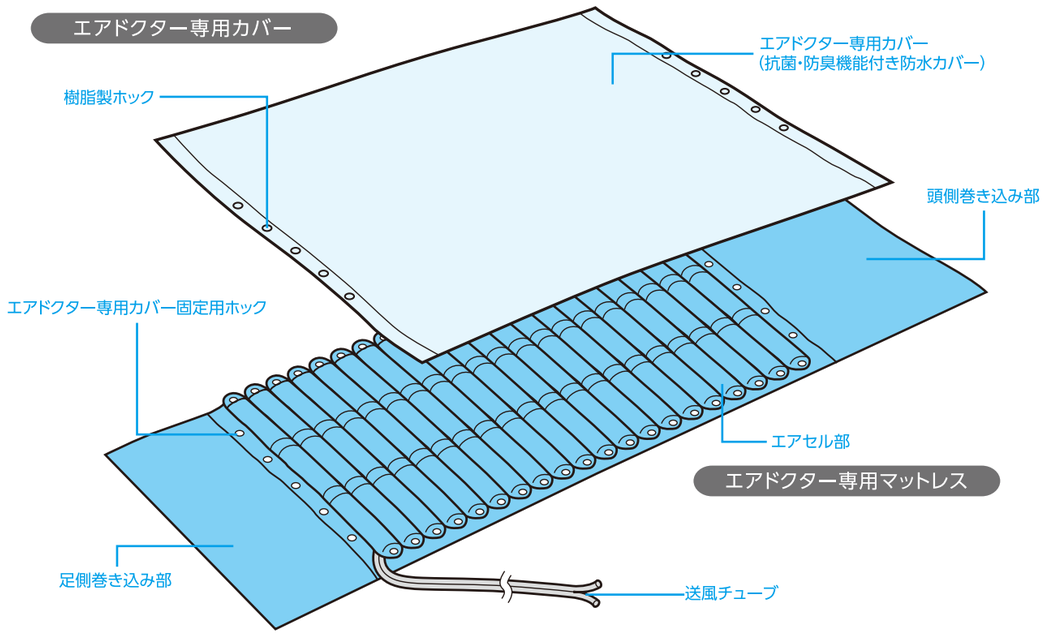


各部の名称

エアドクター専用ポンプ



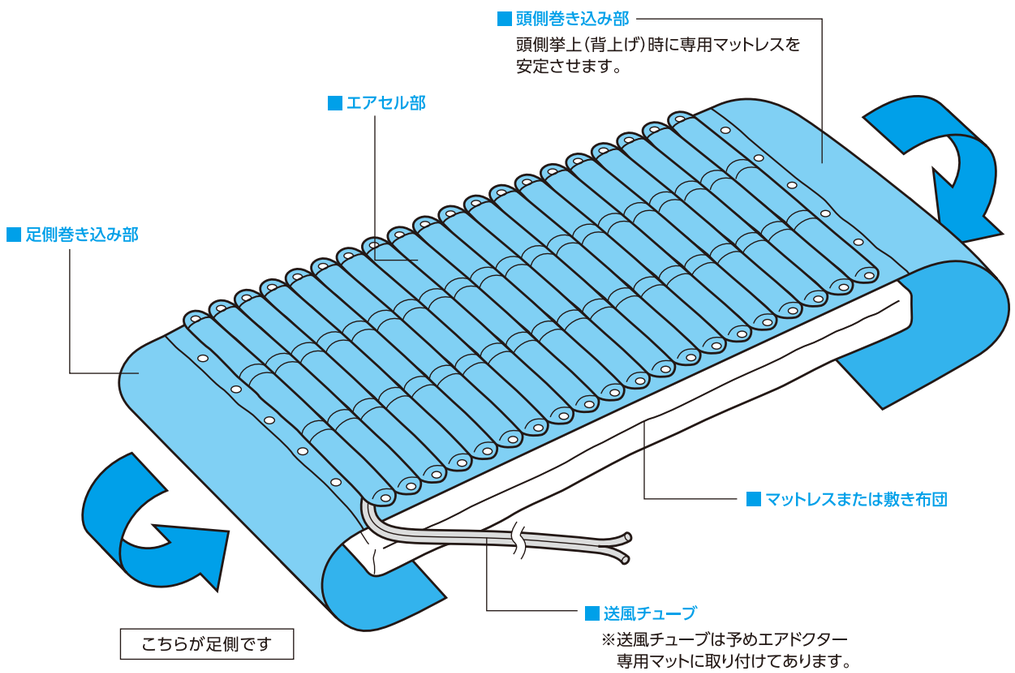
エアドクター専用カバー



設置準備をしましょう

梱包を解いた後、エアドクター専用マットレスとエアドクター専用ポンプを送風チューブで接続し、ベッド上に設置します。以下にその手順をご説明します。

1 エアドクター専用マットレスをマットレス（敷き布団）に設置します。



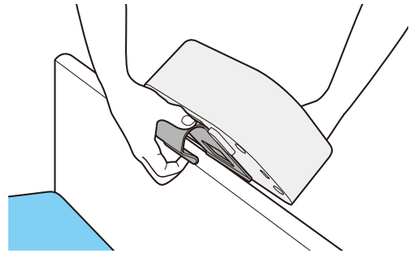
- エアセルが並んでいる面を上にして設置してください。
- 送風チューブが取り付けてある方が、必ず足側になるように設置してください。
- 頭側巻き込み部、足側巻き込み部をマットレスや敷き布団に巻き込んで固定してください。
- エアドクター専用マットレスがよれたりしないように、ピンと張ってください。

警告

送風チューブは必ず足側になるように設置してください。送風チューブが頭側にくると、送風チューブが首などにからんで重大な事故を招く恐れがあります。

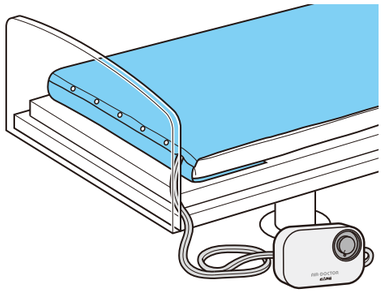
2 専用ポンプを正しく設置します。

1 ベッドでご使用の場合



- 専用ポンプのポンプフックに指を掛けて持ち上げ、ベッドのフットボードの中央部に引っ掛けて設置してください。

2 布団や引っ掛ける場所のないベッドでご使用の場合



- 専用ポンプを足側などの邪魔にならない位置の水平で安定した場所に立てて置いてください。

警告

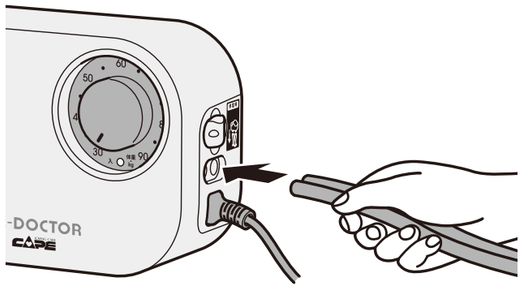
- 送風チューブを束ねたり、専用マットレスの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマットレス内に送りこまれなくなり、エアマットレスとしての期待した効果が得られない恐れがあります。
- 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。
- 専用ポンプをフットボードに掛けて使用する場合は、ポンプフックが療養者の足に当たらない位置に設置してください。ケガの原因になることがあります。また専用ポンプに足を乗せたり、掛け布団などがかかると思わぬ事故や誤作動の原因となります。専用ポンプの上には物を置かないでください。

注意

- 専用ポンプはフットボードの中央部に設置してください。端部に設置すると、落下する可能性があります。
- 専用ポンプをベッドの脚部などに直接触れさせないでください。振動音を発する恐れがあります。また枕元への設置も避けてください。わずかな作動音ですが安眠を妨げる可能性があります。
- ベッド昇降時にフットボードと壁などの間に専用ポンプがはさまれて脱落したり、破損しないよう十分な空間を確保してください。
- エアポンプの足ゴムは、Pタイルなどの床材に着色移行する場合があります。じかに床へ置く（設置）場合は、足ゴムが床材に直接触れないよう、布や紙を敷いてその上にエアポンプを置いてください。

設置準備をしましょう

3 エアドクター専用ポンプに送風チューブを接続します。



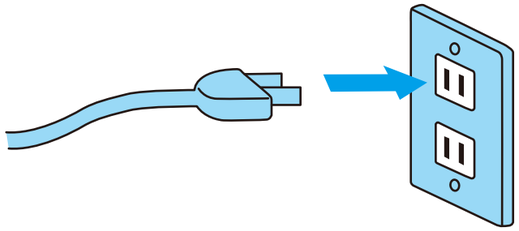
●エアドクター専用マットレスに付いている送風チューブを、エアドクター専用ポンプの送風チューブ差し込み口に、奥までしっかり差し込みます。
※送風チューブの左右は問いません。

確認　送風チューブが確実に接続されていることを確認してください。

確認　エアマットレス内の、全てのエアセルが送風チューブと繋がっているか確認してください。

注意　送風チューブが外れないようにしっかりと接続してください。エアセルに空気が送られないと、エアドクターは機能しません。

4 エアドクター専用ポンプをコンセントにつなぎ、ポンプを作動させてエアセルを膨らませます。



説明　エアドクター専用マットレスに十分な空気を送るために、約20分かかります。

●エアドクター専用ポンプの電源プラグを、家庭用コンセント（100V・50Hz/60Hz）に差し込みます。
●送風チューブが折れ曲がらないように、エアドクター専用ポンプを設置します。

説明　送風チューブが折れ曲がっていると、エアドクター専用マットレスに十分な空気が送られません。

●プラグを差し込むと、自動的に電源が入ります。

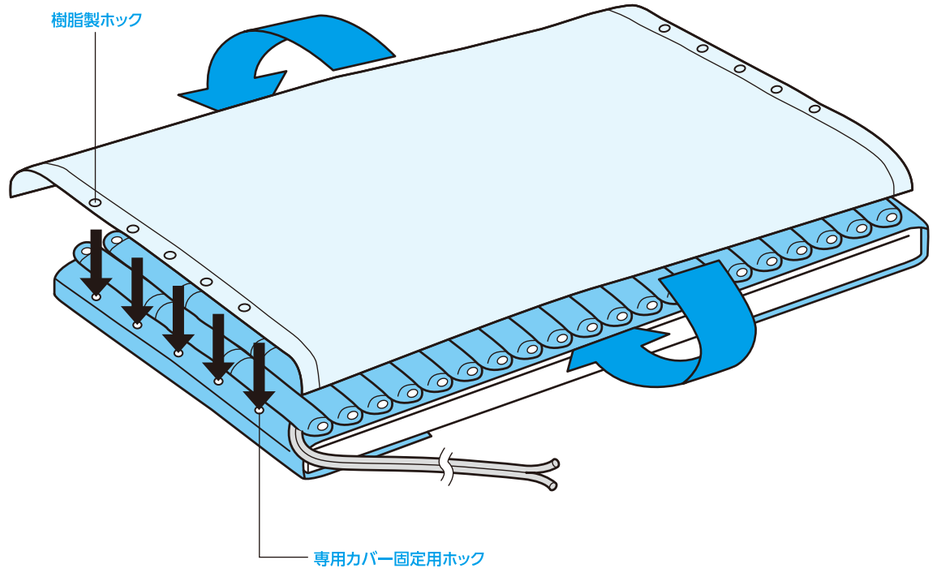
▶▶体重設定ツマミ下の電源ランプ(緑色)が点灯します。
▶▶空気がエアドクター専用マットレスに行き渡るまで、数回ポンプが停止しますが故障ではありません。

5 付属の専用カバーをエアドクター専用マットレスに固定します。

●約20分後、エアドクター専用マットレス全体が十分膨らんでいるか確認します。

確認　エアドクター専用マットレスのエアセルが1本おきに抜けたように見える場合がありますが、正常な膨張・収縮動作です。

●エアドクター専用カバーに付いている樹脂製ホックを、エアドクター専用マットレスの頭側、足側にそれぞれ5個づつあるエアドクター専用カバー固定用ホックにはめます。
●横方向の余分なエアドクター専用カバーは、エアドクター専用マットレスだけを包むように下側へ巻き込みます。



確認　送風チューブが足側になっていることを確認してください。

■エアドクター専用カバーは別途にお買い求めいただけます。
本製品ご購入先、もしくは株式会社ケープまでお申し付けください。

注意

●エアドクター専用マットレスの表面を、針や先のとがったもので刺したり、傷つけたりしないでください。エアセルのパンクの原因となり、エアドクターが正しく機能しなくなります。

●エアドクター専用カバーとエアドクター専用マットレスとの間には、ベッド用パッドなどを入れないでください。期待した性能が得られない恐れがあります。

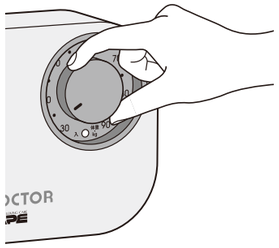
実際に使用しましょう

エアドクター専用マットレスが最も性能を発揮するように、療養者に合わせて体重設定ツマミを調整します。以下にその手順をご説明します。

療養者に寝てもらい、体重に合わせて体重設定ツマミを調整します。

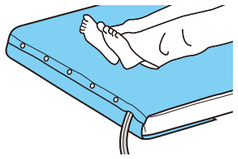
●P.8～11の準備を行い、エアドクター専用マットレスのエアセルが膨らんでいる状態にします。

●体重設定ツマミを体重に合わせ、約5分間そのままにしてください。



説明 エアドクター専用ポンプから送られる空気圧が変化し、安定するまで約5分かかります。

確認 送風チューブが取り付けてある方が足側になっていることを確認してください。



確認 エアドクター専用マットレスのエアセルが膨らんでいることを確認してください。

確認 頭側挙上（背上げ）機構のあるベッドは、頭側挙上（※30度までを限度としてください）させてエアドクター専用マットレスがずれないことを確認してください。
※30度以上の頭側挙上を長時間行うと、期待した性能が得られない場合があります。

お願い エアドクターは、介護者による「体位交換」が必要な方にとって、それを不要にするものではありません。ご使用に当たっては、これらのことをご理解いただき、ご了承くださるようお願いします。

警告

●エアドクターをご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、重大な事故の原因になります。

●専用マットレスの上で、飛び跳ねないでください。ケガをしたり、破損の原因になります。

●専用マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。

●二人以上で使用しないでください。本来の性能を発揮できない恐れやマットレス破損の原因になります。

注意

●電源を入れてから20分は使用しないでください。空気が十分に入っていないため、期待した性能が得られません。

●ご使用になる前にマットレス内に空気が入っているか確認してからご使用ください。また専用マットレス表面の一部が極端に凹んでいたり、出っ張っているなど、異常と思われる場合はご使用を中止し、お買い上げの販売店または株式会社ケープへお問い合わせください。

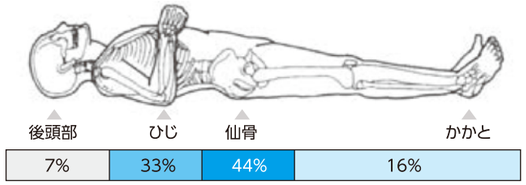
●専用マットレスの上で突起物（ハサミ、ナイフ等）は使用しないでください。破損の原因等になることがあります。

底づきチェックの方法

説明 人間は同じ体重でも、太っている／痩せている、背が高い／背が低い、筋肉質／脂肪質など、体型は様々です。又、側臥位や頭側挙上時など、寝ている姿勢も変化します。これらの条件の変化により圧迫される部位や面積、またそこにかかる圧迫の度合いがそれぞれに異なります。このような理由から、P.12の手順の後「底づきチェック」を行うことをおすすめします。

●床ずれが最も起きそうな場所（通常は仙骨部）で、エアドクター専用マットレスが完全に押しつぶされていないかどうか（「底づき」を起こしていないか）を介護者が手を使って直接確認し、適正な空気圧に調整します。

●「底づき」の確認は、1日1回以上行うようにしてください。

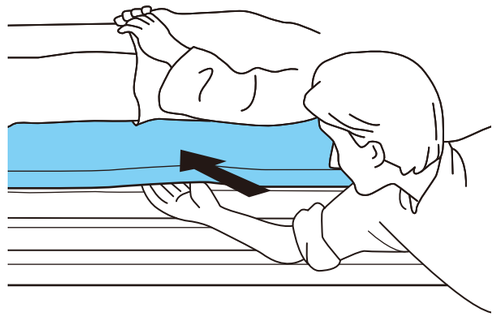


仙骨部には、体重の約40%が集中します。

手順1

確認 P.12の操作から5分以上過ぎ、空気圧の変化が落ちついていることを確認してください。

エアドクター専用マットレスと**マットレスや敷き布団**などの寝具との間で、床ずれが最も起きそうな場所の真下に、手のひらを上に向け、水平に差し入れます。



手順2

中指を曲げてみて、エアドクター専用エアセル部の押しつぶされ具合（底づき）を調べます。

● エアドクター専用マットレスが底づきを起こしている（体重を手に直接感じる）場合

空気圧が低すぎます。体重設定ツマミを+5kg程度多く設定し、空気圧を上げます。

▶▶約5分で設定された空気圧になります。

● 手と体との間が指の幅2本分以上離れている（指を動かしても体重を直接感じない）場合

空気圧が高すぎます。体重設定ツマミを−5kg程度少なく設定し、空気圧を下げます。

▶▶約5分で設定された空気圧になります。

注意 エアドクターのエアセル部は2系統に分かれており、約5分間隔で交互に膨張と収縮を繰り返しています。底づきを調べる時は、膨張しているセルについて調べてください。

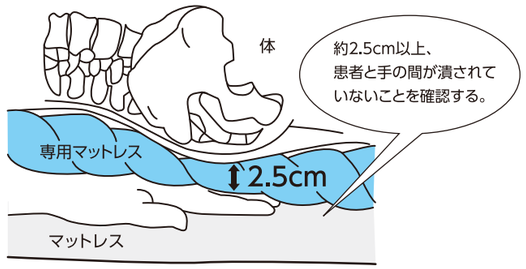
作業は次ページに続きます。▶▶▶▶▶

実際に使用しましょう

底づきチェックの方法(P.13のつづき)

手順3

手順2の操作の後、空気圧が変化して落ちつくまで5分間以上待って、再度エアドクター専用マットレスの底づきを調べます。最も押し潰されている場所で、2.5cm程度(指の幅2本分程度)の余裕が指先で感じられる状態が適正とされています。この状態になるまで、手順1～手順3を繰り返します。



※アメリカ厚生省保健政策調査課(AHCPR)発行の
「褥瘡の治療」のガイドラインユーザーマニュアルより引用。

工夫 上記の手順によって得られた適正な体重設定ツマミの位置に、ビニールテープなどを小さく切って貼り付けておくと便利です。

注意 エアドクター専用マットレスの上に立つなど、局部に過大な圧力のかかることはしないでください。エアセル部のパンクの原因となり、エアドクターが正しく機能しなくなります。

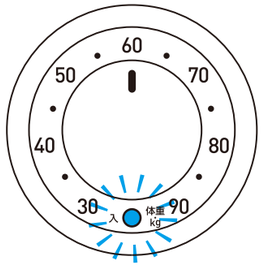
お願い エアドクターに限らず、床ずれ防止用具のご使用に際しては「底づき」の確認をおすすめします。

安全お知らせ機能

専用ポンプには、エアセルの内圧異常を電源ランプの点滅でお知らせする機能があります。

説明 点滅があった場合の対処方法は、P18～19の「故障かな?と思ったら…」をご覧ください。

安全お知らせ機能は、電源プラグを抜き差しすることで解除できます。



接触圧力をチェックしましょう

床ずれの原因のひとつである圧迫は、目で見ることができません。ご自身での体動が困難になったり、臥床時間が長くなると床ずれ発生の危険性が高くなります。骨突出部分にかかる圧力を簡単に測定できる圧測定器を使って、危険を目に見える数値で確認し、より根拠(エビデンス)のあるケアにお役立てください。

床ずれ発生の危険を数値で確認することが
床ずれ防止の環境づくりにつながります

●床ずれ発生の危険度評価　●床ずれ防止用具のフィッティング確認

【携帯型接触圧力測定器】
パームQ〈CR-490〉

停電時の対応方法

停電時は、エアマットレスへの空気の供給が止まります。時間の経過とともに空気が少しずつ漏れ出しますが、急速に空気が漏れる訳ではありませんので、ご安心ください。

空気の漏れは、療養者の状態(体重・活動性・体位など)やエアマットレスの動作状態により異なります。

短時間の停電
3時間以内

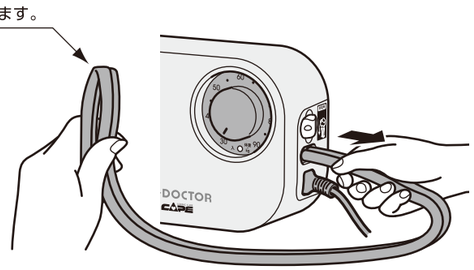
特別な操作の必要はなく、そのままご使用になれます。

長時間の停電
3時間以上

長時間の停電などが予測される場合は、
空気の流出を防ぐため下記の対応をお願いします。

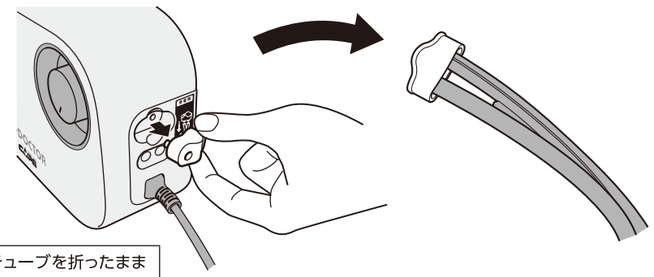
手順1

空気が漏れないように、
送風チューブを途中でしっかり折り曲げてから、
送風チューブを取り外します。



手順2

ポンプ右側面からチューブ栓を取り外し、
送風チューブに挿します。



一連の作業は、チューブを折ったまま
行ってください。

お願い 電力が復旧するまで2時間おきに体位変換をお願いします。

復旧時の安全確認と再設定を!

停電復旧後、療養者の状態をご確認いただくとともに、再度チューブを途中で折り曲げ、折った状態のままチューブ栓を取り外した後、送風チューブを専用ポンプの送風チューブ差込み口に奥までしっかり差し込みます。
その後、電源が入っていることを確認して使用してください。
20分程度でエアが充填され、通常にご使用いただけるようになります。

定期的なお手入れのしかた

エアドクター専用マットレスの空気圧点検

●エアドクターをご使用中は、必ず1日に1回の間隔で空気圧の点検を行ってください。なお、エアドクターの設置場所を変えた場合や、停電などで一時的に作動が停止した場合などには、その都度行ってください。

空気圧の点検方法
▼
P.12〜14
「実際に使用しましょう」
と同様です。

●異常や変化が感じられるとき、また困ったこと、わからないこと、不安なことが生じた場合には、P.18〜19「故障かな?と思ったら･･･」をご覧になり、確認してください。送風チューブの接続不良や、エアセルの損傷による空気漏れなども考えられます。

注意 エアドクター専用マットレスから送風チューブを取り外さないでください。接続構造になっていますが、着脱を想定していないため、接続できなくなったり、接続部が破損したりする恐れがあります。

各部の掃除

エアドクター専用マットレスのお手入れ

1. エアドクター専用ポンプの電源プラグをコンセントから抜き、エアドクター専用ポンプから送風チューブを取り外します。
2. エアセル部の空気を抜いてください。
3. エアドクター専用カバーを取り外します。
4. エアセル部を掃除します。
   - 布に薄めた中性洗剤かぬるま湯(50℃以下)を含ませ、固くしぼります。
   - 上記の布で、エアドクター専用マットレスのエアセル部の表面の汚れをふき取ります。
   - 陰干しして自然乾燥させます。
5. エアドクター専用カバーを取り付けます。

お願い
・オートクレーブは使用しないでください。
・ベンジン、シンナー、クレゾールなどは、材質を傷めますので使用しないでください。

エアドクター専用カバーのお手入れ

1. 洗濯機の場合は「弱洗い」で脱水は30秒程度。
   手洗いの場合は弱い手洗い(押し洗い)を行います。
   - シミ汚れのある場合には、その部分の下側に布を当て、薄めた中性洗剤かぬるま湯(50℃以下)を含ませた布で叩きます。
2. 脱水した後、しわを伸ばして陰干しし、自然乾燥させます。

業務用洗浄機で洗浄する場合、下図の表示を参考にしてください。

お願い
・ドライクリーニング、乾燥機、オートクレーブは、裏面のポリウレタン樹脂を傷めますので使用しないでください。

注意 防水カバーを洗濯機で脱水する場合、防水部分に水が溜まることにより、洗濯機に負荷が掛かり故障や異常振動による転倒事故を招く危険があります。お客様の都合により洗濯機を使用される場合は、防水部分に溜まった水を大まかに取り除いた上で、脱水を行ってください。

エアドクター専用ポンプのお手入れ

1. エアドクター専用ポンプの電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 布に薄めた中性洗剤かぬるま湯(50℃以下)を含ませ、固くしぼります。
3. 2.の布で、エアドクター専用ポンプの表面の汚れをふき取ります。

お願い
・ベンジン、シンナー、クレゾールなどは、材質を傷めますので使用しないでください。

警告
●エアドクターを長期間使用しないとき、またエアドクター専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因となります。

●エアドクター専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントからプラグを抜く時には、必ずプラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。

●濡れた手で、エアドクター専用ポンプの電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故や故障の原因となります。

保管のしかた

エアドクターのご使用を止め、保管する場合は以下の手順で保管してください。

1. エアドクター専用ポンプの電源プラグをコンセントから抜きます。
2. エアドクター専用ポンプから送風チューブを取り外し、エアセル部の空気を抜いてください。
3. 左記の「各部の掃除」と同様に、汚れを落とします。
4. エアドクター専用マットレスは折りたたみ、お届け時に入っていたビニール袋に入れます。
5. エアドクター専用ポンプは電源コードを束ねて、お届け時に入っていたビニール袋に入れます。
6. それぞれを、お届け時に入っていた箱に納めて、保証書(本取扱説明書)と共に保管します。

お願い
・落下しないよう、安定した所に置いてください。
・箱がつぶれるような重い物を、上に重ねないでください。
・湿気の少ないところに保管してください。

廃棄のしかた

各パーツを素材ごとに分け、各行政のゴミ分別方法に従って廃棄してください。

故障かな?と思ったら・・・

エアドクターをお使いになっていて、または点検の際に何らかの異常や変化、疑問を感じられたときは、以下のことを確認し、それぞれについての説明が記載されている参照ページをご覧ください。それでも原因が不明なときは、故障や部品破損の可能性があります。ご使用を止め裏面の保証書をご覧になり、ご購入先、もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください。

警告 ご自分で修理するためにエアドクター専用ポンプのネジを取り外し、ケースを開けることは絶対にしないでください。故障や事故の原因になります。

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
ポンプが作動しない（電源ランプが点灯していない）	電源プラグがコンセントに入っていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください	P.10
注意ランプが点滅している	いくつかの原因が考えられます	電源プラグを抜き、下記の確認を行ってください。その後電源プラグを差し込んでください 自動的に電源が入ります。約60分後、再度点滅する場合にはお問い合わせください	
	専用ポンプの送風チューブ差し込み口から送風チューブが抜けている	送風チューブを、専用ポンプの送風チューブ差し込み口に、奥までしっかり差し込みます	P.10
	エアセルのTコネクターが、送風チューブから抜けている	全てのエアセルTコネクター部を、送風チューブに差し込んでください	P.10
	エアセルがパンクしている	パンクしたエアセルを新しいエアセルと交換してください	お問い合わせください
マットレスが膨らまない／柔らかすぎる	ポンプが作動していない	電源プラグをコンセントに入れてください	P.10
	送風チューブが外れている	送風チューブを接続してください	P.10
	送風チューブが折れ曲がっている	送風チューブを伸ばしてください	P.8～11
	体重設定ツマミの調整が誤っている	体重設定ツマミを適正に調整してください	P.12～14
エアセル部が部分的にしか膨らまない	エアセルを繋ぐ送風チューブが外れている	専用カバーを取り去り、送風チューブを接続し直してください	P.10
	エアセルがパンクしている	パンクしたエアセルを新しいエアセルと交換してください	お問い合わせください
マットレスが硬すぎる	体重設定ツマミの調整が誤っている	体重設定ツマミを適正に調整してください	P.12～14
ポンプの作動が一時的に停止する	一時的なら問題ありません		
ポンプの音が異常に大きい	ポンプの上に物がのっている	物を取り除いてください	P.9
	ポンプが他の物に触れている	物を取り除いてください	P.9
	ポンプを振動しやすい物の上に置いている	ポンプを安定した場所へ設置してください	P.9
	ポンプが水平に設置されていない	ポンプを水平に設置してください	P.9
停電が発生した		停電時の対応方法をご参照ください	P.15

仕　様

エアドクター

タイプ／品番		840／CR−238	900／CR−268
専用マットレス	品番	CR-240	CR-269
	サイズ	幅84×長さ190×厚9cm	幅90×長さ190×厚9cm
	重量	3.2kg	3.4kg
	材質	エアセル：ポリウレタンフィルム表面シボ加工 抗菌	ベースシート：ナイロンオックスすべり止め加工布
	エアセル数	20本	20本

※マットレスのサイズ表示は基本寸法であるため、マット内圧の状態やご使用状況により多少異なる場合があります。

エアドクター

タイプ／品番		840／CR−238	900／CR−268
専用カバー（マットレス付属）	品　番	CH-215	
	材　質	ポリウレタンフィルムラミネート加工布 防水･抗菌	
専用ポンプ	品　番	CR-259	
	サ イ ズ	幅24.4×高さ17.9×奥8.9cm（ポンプフック装着時／幅24.4×高さ17.9×奥13.5cm）	
	重　量	1.8kg	
	材　質	ケース／ABS樹脂　フック／PA樹脂	
	そ の 他	定格:AC100V、5W、50Hz/60Hz	